

1 学習指導要領における総合的な学習の時間の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成し、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。

2 本校の目標

「ふるさと」に視点を当てるなどし、横断的、総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成し、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるとともに、地域や社会との関わりの中で自己の生き方を考えることができるようにする。

3 育てようとする資質や能力及び態度

(1) 学習方法に関すること

- ・問題状況の中から課題を発見し、設定する。
- ・解決の方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てる。
- ・手段を選択し、情報を収集する。
- ・問題状況における事実や関係を把握し、理解する。
- ・多様な情報の中にある特徴を見付ける。
- ・課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える。
- ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。
- ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。

(2) 自分自身に関すること

- ・自らの行為について、意思決定する。
- ・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。
- ・自らの生活の在り方を見直し、実践する。
- ・自己の将来を考え、夢や希望を持つ。

(3) 他者と社会との関わりに関すること

- ・異なる意見や他者の考えを受け入れる。
- ・他者と協同して課題を解決する。
- ・身の周りの環境との関わりを考えて生活する。
- ・課題の解決に向けて、地域の活動に参加する。

4 内容 ○内容（テーマ） ☆学習対象 ※学習事項

活動内容	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
ふるさと薬師寺を中心に	<p>○ふるさと薬師寺の良さを見つけよう</p> <p>☆薬師寺の特徴や地域の活性化のために取り組んでいる人々 ※薬師寺の産業の特徴 ※地域活性化のために取り組んでいる人々の取組や思い</p> <p>* 干瓢、苺など</p> <p>----- 活動例 -----</p> <p>干瓢の栽培活動 農家の見学 干瓢を使った調理実習</p>	<p>○ふるさと薬師寺を良くしよう</p> <p>○様々な障害を持つ人とともに生活するために</p> <p>☆視覚障害を持つ人を支援する仕組み ※点字・アイマスク体験</p> <p>☆聴覚障害を持つ人と支援する仕組み ※聴覚が不自由な人々の思いや願い ※手話体験</p> <p>☆高齢者や肢体不自由な人々と支援する仕組み ※高齢者、車いす体験</p>	<p>○ふるさと薬師寺の産業と環境を知ろう</p> <p>☆薬師寺の産業やそれに携わる人々 ※薬師寺の産業の様子やそれに携わる人々の取り組みや思い ※薬師寺の産業に対して自分たちができること ※環境の保全やより良い環境の創造のための取組</p> <p>・地域の産物を生かす取組</p> <p>----- 活動例 -----</p> <p>バケツでの稲の栽培活動</p>	<p>○ふるさと薬師寺の歴史と文化を知ろう</p> <p>☆薬師寺や周辺の歴史や伝統・文化とその継承に力を注ぐ人たち ※薬師寺や周辺の歴史や伝統・文化とその継承に力を注ぐ人たちの努力や思い ※地域の一員として伝統や文化を守り受け継ごうとする活動や取り組み、また、今後の地域の発展のための提案</p>

		※障害を持つ人々の 思いや願い ※支援の仕組みと携 わる人々の思い ※自分の生き方		
	30時間	30時間	40時間	40時間
スキルア ップ	○パソコンの文字入 力の仕方に慣れる ○パソコンの文字入 力の仕方が分かる。	○ Web の操作の仕 方が分かる。 ○インターネットで Web ページを見る ことができる。必要 な情報収集ができ る。	○パソコンの文字入 力、写真や絵の貼り 付けの仕方が分か る。 ○著作権を知る。 ○ 写真や絵の貼り 付けができる。	○パワーポイント の仕組みが分かる。 ○パワーポイント を利用し、プレゼ ンテーションがで きる。
	5時間	5時間	5時間	5時間
マイチャ レンジ ・行事と の関わり 等	○総合的な学習を始 めよう（オリエンテ ーション） ○薬師寺の学区はど んな所かな？ ・地域を知ろう	○日光について知ろ う。 ・世界遺産「日光」 とは、 ○自分を知ろう ・1/2成人式を 通して	○臨海自然教室を楽 しみ、学ぼう ○エコプロダクツで 学ぼう。 ・企業が取り組む 「環境活動」 ○6年生を送ろう	○歴史の町「鎌倉」 を知ろう。 ○未来の自分のた めに今できること ・キッザニアで学 ぶ ○6年間を振り返 えろう ※卒業アルバム、 文集作り、お世話 になった方への感 謝の気持ち
	15時間	15時間	25時間	25時間
時数	50	50	70	70

※各内容の時間は、基準となる時間

5 学習活動

- (1) 3年生から6年生まで、「ふるさと」を主のテーマとし、「共に生きる、福祉を中心に」を第2のテーマとする。「共に生きる、福祉を中心に」のテーマは、3年生から6年生の4年間を通しての学習活動とする。
- (2) 単元は、学年で開発する。あまり、時数の少ない単元とならないように注意をする。学級で取り組む他、学年で取り組む場面も積極的に取り入れる。
- (3) 各テーマの学習活動は、上記の内容の基準となる時数を参考に設定する。
- (4) 体験活動を有効に活用し、狙いを達成できるよう学習を展開する。ただし、学習が体験することのみに終始することのないよう十分に配慮する。

6 指導方法

- (1) 児童の課題意識を連続発展させる支援
- (2) 諸感覚を駆使する体験活動の重視。体験活動を活用して目標達成への挑戦。
- (3) 人との関わり方の重視
- (4) 協同的な学習の充実
- (5) 個に応じた指導の工夫
- (6) 対話を中心とした個別支援の徹底
- (7) 社会との関わりの中で自分を見つめ、行動することの重視
- (8) 自己の生き方を見つめることの重視

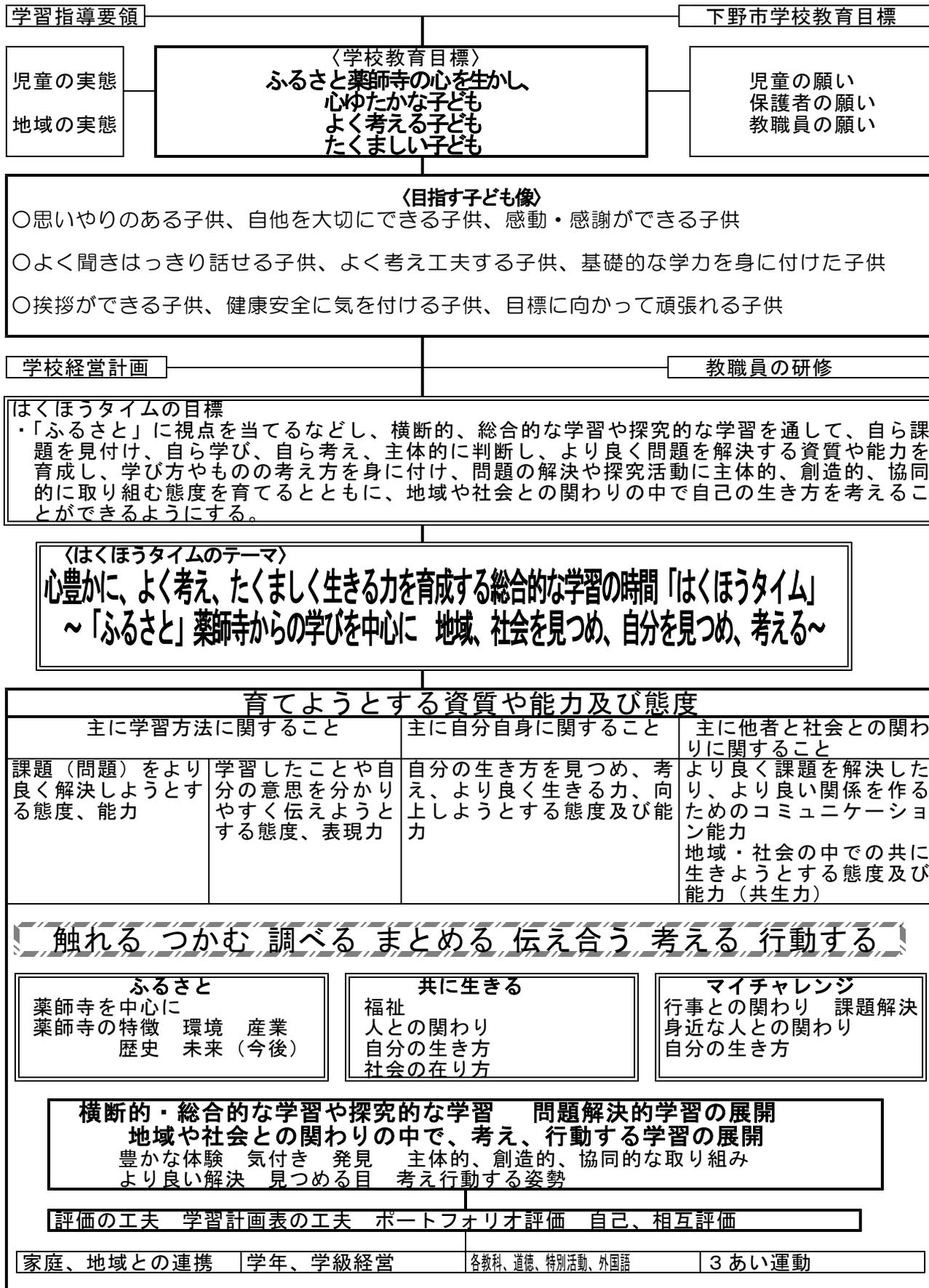
7 指導体制

- (1) 学級を越えた学年体制での指導。チーム、ティーチングの積極的な活用
- (2) 地域の方々、外部の指導者（専門家、学校支援ボランティアバンク等）、行政（市役所、文化課、社会福祉協議会）の協力を積極的に得、人材バンクとして登録、効果的に活用

8 学習の評価

ポートフォリオを活用した評価の充実

9 はくほうタイム全体構想図



10 学年別 育てようとする資質、能力、態度

能力・資質	3年生	4年生	5年生	6年生
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○興味、疑問等から課題意識を持ち、進んで課題に取り組もうとしている。 ・教師と共に学習の計画を立て、計画的に学習しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○問題を把握し、進んで情報を集めたり、見通しを立てて調べたり、体験したりしようとしている。 ・自分の力で学習の計画を立て、見通しを持って学習しようとしている。 	
問題解決力 課題(問題)をより良く解決しようとする態度、解決できる能力	<ul style="list-style-type: none"> ○興味、疑問等から課題意識を持ち、教師と共に課題を設定し、解決しようとする。 ・対象についての興味、問題意識を持ち、興味、疑問等から課題意識を持つことができる。 ・調べ方、まとめ方、発表の仕方を知り、選択し決めることができる。 ・課題解決のために調べたことを比べたり、繋げたりして考える。 ・学習の仕方や進め方を身に付けることができる。 ・探究的に学習することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○問題を把握し、適切な課題を設定し、見通しをもって調べたり、体験したりしてより良く問題を解決する。 ・対象についての問題を捉え、課題意識を持ち、適切な課題を見付けることができる。 ・課題解決のための調べ方を考えることができる。適切に情報を収集できる。 ・課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える。 ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習、生活に生かすことができる。 ・探究的に学習することができる。 	
表現力 学習したこのことや自分の考えを伝えようとする態度、表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べこと、そこからの自分の考えや感想を相手に分るように表現する。 ・アイデアを出すことができる。 ・まとめ方、発表の仕方を知り選択し決めることができる。 ・振り返りやアイデアを生かし、学習の成果を発表することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する。 ・自分らしい考えや、アイデアを出すことができる。 ・適切なまとめ方、発表の仕方でもまとめ、発表することができる。 ・発表の方法を工夫し、より多くの人に分かりやすく活動の成果を知らせることができる。 	
自分の生き方 自分の生き方を見つめ、より良く生きる力、向上する態度及び能力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えや意見を持ち、行動できる。 ・自分の行動について、自分で決める。 ・意欲を持って学習を続けることができる。 ・自分の生活を見つめ、より良く行動する。 ・自分の良さに気付く。 ・自分の将来を考え、夢や希望を持つ。 ・協力して学習を進めることができる。 ・学習を通して、自分を振り返ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の生き方を考え、より良く生きる力を育て、向上しようとする。 ・自らの行為について意思決定する。 ・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する。 ・自らの生活の在り方を見直し、実践する。 ・自分の良さに気付く。 ・自己の将来を考え、夢や希望を持つ。 ・友達を思いやったり、良いところを見付けたりしながら、協力することができる。 ・学習を通して、自分を振り返り、これからの自分の生き方に生かすことができる。 	
コミュニケーション能力 より良く課題を解決したり、良好な関係を作ったためのコミュニケーション能力 地域・社会の中で生きようとする態度及び能力(共生力)	<ul style="list-style-type: none"> ○より良く課題を解決したり、より良い関係を作るために触れ合ったり、話したり、話し合ったりすることができ、地域・社会の中で共に生きようとするすることができる。 ・友達や他の人の話をよく聞き、受け入れられる。 ・友達や他の人と協同して課題を解決できる。 ・地域などの人々と進んで触れ合うことができる。 ・地域や社会、身の周りの環境との関わりを考えて生活できる。 ・課題の解決に向けて、話を聞いたり、話をしたり、地域の活動に参加する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○より良く課題を解決したり、より良い関係を作るためにコミュニケーションをとることができ、地域・社会の中で共に生きようとするすることができる。 ・異なる意見や他者の考えに耳を傾け受け入れることができる。 ・他者と協同して課題を解決できる。 ・地域などの人々と方法を工夫しながら、積極的に触れ合うことができる。 ・地域や社会、身の周りの環境との関わりを考えて生活できる。 ・課題の解決に向けて、話を聞いたり、話をしたり、地域の活動に参加する。 	

1 1 本校における重点目標

はくほうタイムの目標は、本校の児童にとって、全ての面で、大変意義深いものであり、また、育成すべき内容であると考え。このような視点から、目標を内容ごとに分け、毎年、重点内容をしぼって、指導していくこととする。

重点目標とする内容を

- ① 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力の育成すること
- ② 問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度の育成すること
- ③ 学び方やものの考え方を身に付けること
- ④ 自己の生き方を考えることができるようにすること

とし、①から順に各年度の重点目標としていくこととする。必要があれば、連続して同じ目標を重点とすることも妨げられない。また、①～④の順番を入替えることもできる。

1 2 他教科、領域との関連

国語……総合的な学習の時間におけるコミュニケーション能力、表現力の育成の基盤となる教科である。総合的な学習の時間は、国語によって育成された言語力を生かす場であり、また、総合的な学習の時間で培われた表現力やコミュニケーション能力が国語の能力育成を補完するものと考え。相互に深い関連がある。また、国語資料には福祉や環境をテーマにしたものも取り上げられており、総合の学習と関連付けることができる。

社会……本校のメインテーマである「ふるさと」は、社会科の学習と大きな関連がある。3、4年生では、地域学習や地域を支える仕組みや人々の学習は、各学年の総合のテーマに沿ったものであり、5年生での産業の学習、6年生での歴史・公民の学習もその内容とタイアップして、総合のテーマが設定してある。学習に当たっては、社会科の学習とリンク、タイアップさせながら進めることができる。また、今日的課題である福祉や環境についての社会科での学習も総合の「ふるさと」や「共に生きる」のテーマを追究する上で大いに役立てることができる。

算数……資料の整理の仕方やデータの読み取り、グラフ化などで算数で得た知識や技能、思考力を活用することができる。

理科……環境や生物という視点でのものの考え方が「ふるさと」をテーマとした学習に生かすことができる。

音楽、図工、体育……総合的な学習の時間の問題解決の手法として、活用することができる。

道徳……総合的な学習の時間を通して、道徳的な資質を養うことができる。また、道徳で学習したことを総合的な学習の時間で生かし、また、実践していくことができる。

特活……主体的、自治的な活動、問題解決は、総合的な学習における主体的な姿勢を補完できる。また、総合的な学習での主体的な問題解決の態度の育成は、特活に生かすことができる。話し合いや協力の姿勢等、総合的な学習と特活は相互に大変密接な関係にあると考え。

外国語活動……外国語活動で培ったコミュニケーション能力を生かし、地域の人々へのインタビューや情報収集を行う。

環境教育、人権教育、福祉教育とも関連が深く、総合的な学習の時間を通して、これらの狙いを補完することができる。と考える。

情報メディア教育との関連 ※総合的な学習の時間で学習できる主な内容。総合的な学習の時間だけで行うのではなく、全教科領域で行う。詳しくは、情報メディア教育計画参照。

	3 年	4 年	5 年	6 年
知識	パソコンの文字入力の仕方が分かる。	Web の操作の仕方が分かる。	パソコンの文字入力、写真や絵の貼り付けの仕方が分かる。著作権を知る。	パワーポイントの仕組みが分かる。
技能	ローマ字入力ができる	インターネットで Web ページを見ることができる。	写真や絵の貼り付けができる。	パワーポイントを利用し、プレゼンテーションができる。
モラル	情報には誤ったものもあることに気付く。危険に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。自分の情報や他人の情報を大切にす。	個人の情報は、他人に漏らさない。パソコンは、情報のやり取りの道具で、他人と関わるものであることを理解し、他人が困るようなことはしない。不適切な情報に出会ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。	情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する。著作権を守ろうとする態度、弊害のあるサイトへアクセスをしない、個人情報大切に、他者の情報を流さない。他者を利用するような使用をしない。	他人や社会への影響を考慮して行動する。自他の個人情報、第三者に漏らさない。著作権を守るような態度、弊害のあるサイトへアクセスしない、個人情報大切に、他者を利用するような使用をしない。

13 指導上の留意点

- (1) 学習全体が、十分見通しを持った周到な計画の下、実施する。
- (2) 指導に関しては、体験活動を重視する。ただし、体験が中心で、体験のみの学習「活動あって学びなし」という状態にならないように十分配慮をする。体験するに当たって、体験から感じる事、思う事、考える事が重要であることをしっかり意識させ指導する。体験を通して、何を学ぶのかを明確にして指導にあたる。
- (3) 児童の主体性や主体的な態度の育成を図ることは目標の一つであるが、教師の意図的で計画的な指導の下、学習が展開されるようにする。
- (4) 年間指導計画ならびに単元計画の作成に当たっては、「小学校指導要領解説 総合的な学習の時間」P65～75を参照する。